



パラアーチェリー（東京2020パラリンピック代表候補）

大塚 忠胤 選手のお話を聞く

12月11日（金）

マイクロバスを運転して、大塚選手がさっそうと来校しました。大塚選手は、18歳の時にバイク事故にあい、右上肢機能全廃になりました。30歳の頃フィールドアーチェリーに出会い、競技を始めました。右腕が使えないので、犬歯で弓を引く独特のスタイルです。アーチェリーのルールは、健常者も障害者も変わらないので、健常者と一緒の大会にも参加し活躍しています。

〈大塚選手から学んだこと〉

- 1、前向きに考える～今も事故の後遺症として常に右腕がしびれているそうです。考えてもしょうがない
- 2、自分の行動には責任を持つ～事故を起こしたのも自分の責任、自分がとった行動の結果
- 3、自分から行動をする～道を開くには海外でもどこにでも行って学ぼう、まずは動かないと始まらない
- 4、自分の好きなこと、夢中になることが上達の秘訣～うまくなりたい、できるようになりたいなら好きになる夢中になること
- 5、いろんな言語を身に付けよう～いろんな国の人と話ができるよういろんな言語を勉強しよう

このほか、大塚選手から多くのことを学びました。大塚選手は、来年3月のパラリンピック選手選考会に向けて練習に励んでいます。「東京2020パラリンピック」の舞台に立つのを楽しみに心から応援したいと思います。



eライブラリの活用を！！

5月下旬、コース別ドリル学習「eライブラリ」の利用案内を文書でしました。ご活用いただけますでしょうか？家庭で、場所・時間を選ばず学習に取り組むことができます。ぜひご活用ください。

以前配付しました、IDカード紛失等ありましたら、学校にご連絡ください。冬休みの家庭学習でも大いに利用していただきたいと思います。

また、学校ホームページからログインできるようになっています。

「ラッキー」のお世話 ありがとうございました

長い間、栃本小の子供たちと過ごして来た、うさぎの「ラッキー」が12月3日息をひきとりました。寒くなり、かぜをひいたりしていましたが、お医者さんから薬をいただき、このところよくなっていました。しかし、栃本小に来て10年以上ということで、うさぎの年齢にすると80歳を超えているため、かなり老化が進んでいました。寿命ということで、安らかに天国に旅立ちました。

これまで、1、2年生は毎日の野菜のえさやり、ご家庭から食べやすいサイズに切って持ってきていただきありがとうございました。

また、休日のうさぎ当番ありがとうございました。「ラッキー」も天国で、栃本小の子供たちと過ごせたことを喜んでいることでしょう。



年末年始学校閉庁

12月26日～1月5日

上記の期間、学校は閉まった状態になります。来校、電話での対応はできませんので、ご理解ご協力をお願いいたします。

子供たちの活動の様子は、栃本小学校ホームページでご覧になれます。日々更新しています。ぜひ、アクセスしてみてください。学校からの連絡事項等もあります。

<http://www.schoolnet-sano.ed.jp/totimoto-e/>

